

## 平成 27 年度運営方針について

### 1. 法令順守の経営

法令・各種制度（報酬改定）やルールに則った健全経営を行っていく。

### 2. 目標稼働率の達成

平均利用者数を、入所 95.0 人、通所 25.0 人、居宅 50 件／月、あさがお 29 人を目標とする。

### 3. 医師体制の充実

新たに常勤医師（内科）を採用して医師体制の充実を図り、老健施設として求められる医療的管理を行う。また、協力医療機関や他事業所との円滑な連携を図る。

### 4. 利用者への接遇・ケア技術の向上

引き続き、言葉づかい・接遇態度に気を付け苦情をなくす。利用者の生活に楽しみが増やせるようなレクリエーションを始め個別ケアの充実を図る。

組織として必要な研修には計画的に職員を派遣する。また、個々のスキルアップに係る研修については基本的には自分で率先して取り組む。

### 5. 介護報酬改定への適切な対応

特に、在宅復帰支援機能加算・処遇改善加算を取得するために、E チームを在宅復帰チームと位置づける。

リハビリ体制の強化（2名の増員）を図り、通所・E チーム・あさがおのリハビリテーションに対応していく。

### 6. スタッフ間の意思疎通、連携協力

スタッフ間での円滑なコミュニケーションを図り、多職種協同の下にチームケアを行っていく。

### 7. 職員の労働環境の向上に取り組む

職場の環境整備や福利厚生の実施を図る。

### 8. 経費節減を図る

電気・水道のムダをなくす。備品・消耗品等を検討し使用方法を常に見直す。前年度より、利用者の状態に合わせた適正なおむつ使用に資するよう、おむつの見直しを進めてきたが、今年度は使用状況を見ながら、おむつの種類や使用量など評価・検証して、おむつの適正化を進める。

### 9. 地域との関係づくり

ボランティアの受け入れに留まらず、地域の会合等に職員を派遣するなど施設のマンパワーを生かし地域に貢献していく。

### 10. 開設 20 周年（平成 28 年 10 月 1 日）に向けた準備を進める

準備委員会を立ち上げ、記念事業の準備を進める。